

On the Correspondence of Two-syllable Chinese Character Verbs (*kango dosi*) in Japanese and Korean (1) ——Focus on the Analysis of “Japanese-Korean *kango dosi* 7000”——

YOON Jeong-in

Abstract

In foreign language education, various ideas and arrangements are required to teach vocabulary systematically. For many years, I have been discussing the educational effects of Chinese character words (*kango*), especially Chinese character verbs (*kango dosi*), in both Japanese and Korean. *Kango* have the largest number of words, and *kango dosi* consisting of “*kango* + suru/hada” are in majority in Japanese and Korean. I have focused on *kango dosi* with morphological commonalities, such as “*kango* + hada” which corresponds to “*kango* + suru.” I have attempted to introduce them by applying “grouping” and “related words mapping.”

In this study, I have extracted *kango dosi* from the *Daily Concise Japanese Dictionary* (2010), and completed “Japanese-Korean *kango dosi* 7000” and examined their correspondences with Korean. There was a correspondence of 88.29% between the two languages, but the percentage will be lower in cases of real usages. Japanese dictionaries do not adequately present *kango dosi* into parts of speech, but in this study, I have classified them based on the correspondences with Korean *kango dosi*. I identified that, unlike Korean, there were slightly more intransitive verbs than transitive verbs. Part-of-speech classification is a useful reference for the native speakers of both Korean and Chinese. Of the 7000 *kango dosi* that exist only in Japanese, there are 517 words, accounting for 7.38%. A list of frequently employed verbs such as “挨拶・一浪・一睡・一報・右折・改行・完食・左折・油断” is likely to be useful for learners of both Japanese and Korean. I expect that “Japanese-Korean *kango dosi* 7000” will be useful as basic data for the Japanese-Korean contrastive study.

日韓両言語における 2 字漢語動詞の 対応の諸相 (1)

——「日韓漢語動詞 7000」の分析を中心に——

尹 亭 仁

1. はじめに

外国語教育において語彙力を向上させるためには段階的導入や体系的提示などが必要であるが、その前に、準拠できる基礎データが求められる。筆者は長年日韓両言語において漢語、とりわけ漢語動詞がもたらす教育的利点と効果について論じてきた。日韓両言語において、語数が最も多いのは漢語で、動詞においても「漢語＋スル」からなる漢語動詞が最も多く、しかも応用がしやすいからである。筆者は「2 字漢語＋スル」に対応する韓国語の「2 字漢語＋hada」のように形態的共通項のある漢語動詞を対象をしばり、語彙調査を行ない、その結果を「グルーピング」と「関連語マッピング」を用いて、活用を試みている。

この 2 つの方法を導入・活用するためには使用語彙のみならず理解語彙からの需要がカバーできる基礎データが必要である。筆者は、日本における韓国語教育からの需要を意識して数度の語彙調査を通してこの需要の把握に努めてきた。しかし、語彙調査の結果が常に基礎データとして不十分であると感じ、今回『デイリーコンサイス国語辞典』第 5 版 (2010) を対象に本格的な語彙調査を行ない、7000 語以上の漢語動詞の存在を確認した。

本稿では、全数調査からピックアップしたこの 7000 語以上の漢語動詞で基礎データ集の「日韓漢語動詞 7000」を作成し、韓国語との対応に見られる諸相を取り上げる。グルーピングと関連語マッピングも提示し、日本における韓国語教育のみならず韓国語母語話者の日本語学習にも役立てたい。

2. 先行研究に見る日本語の漢語動詞の語数

2.1 小林英樹 (2004)

小林英樹 (2004) では『朝日新聞』の社説 (1989 年) に用いられた漢語動名詞の語数を〈表 1〉のように提示している。2 字漢語動詞は 1,440 語である。

表 1 『朝日新聞』の社説 (1989 年) に用いられた漢語動名詞の語数

音節	延べ語数	異なり語数
二字漢語動名詞	10,523	1,440
三字漢語動名詞	313	134
四字漢語動名詞	163	123
その他	75	53
総語彙数	16,576	1,750

(小林 2004 : 24)

2.2 張志剛 (2014)

張志剛 (2014) は『読売新聞』(2010 年) に用いられた漢語動詞を調べ、2 字漢語動詞「4,383 語」について自他などの品詞分類と分析を行なっている。『朝日新聞』の「社説」より約 3 倍の漢語動詞が用いられている。

尹亨仁 (2019) で取り上げられているように、漢語動詞は語彙調査を実

施する対象によって語数や用いられる語彙が異なる。すなわち、調査対象の媒体が新聞か、小説か、辞書かによって様子が異なるのである。そのため、張志剛（2014）での語数は小林英樹（2004）でのそれより多いが、基礎データとして様々な需要がカバーできるとは言いがたい。

2.3 尹亭仁（2023）

筆者は小林英樹（2004）と張志剛（2014）で提示された漢語動詞の語数を参考にしてきたが、日本における韓国語教育で活用するには限界があると判断し、「大学における教育用漢語動詞」の策定のため、2つの小規模の辞書を対象に語彙調査を行なった。

尹亭仁（2023）によると、調査対象の『デイリー日韓英辞典』（2017）に動詞は2,710語載っており、中で漢語動詞は1,278語で48.4%を占めている。2字漢語動詞は漢語動詞の中で97.4%を占めている。もう1つの辞書である『日本語基本動詞用法辞典』（1989）に漢語動詞は165語載っており、2つの辞書から得られた異なり語数1,290を「基本漢語動詞1290」と名付け、韓国語教育における活用方法および中国語を加えた3言語間で共通する語彙の調査などに用いたりした。

しかし、この「基本漢語動詞1290」に韓国語では頻度の高い「祝賀する」「弁明する」などが含まれていなかったり、「錯覚・参考・冒険・暴行・発作・矛盾・瞑想・免税・面接・面談」などが漢語名詞として載っていたりして、教育用基本漢語動詞集にしては早くも限界を露呈した。

3. 『デイリーコンサイス国語辞典』（2010）における 漢語動詞の語数

本稿では、第2節で述べた先行研究でのデータの限界を補うべく、また

日韓両言語における漢語動詞の全体像をつかめるべく、『デイリーコンサイス国語辞典』第5版（中型版）（2010）（以下、『デイリー国語辞典』と略称する）を対象に全数調査を行なった。

3.1 ピックアップの対象

《デイリー国語辞典》からピックアップしたのは、(1a) のように見出し語が「2 字漢語名詞＋スル」の形式を取っている語である。(1b) の「両替」や「割引」のように、2 字漢語のように見えるが、2 字が漢語ではない語は除外した。この 2 字漢語は漢語動詞の語幹を成し、名詞だけでなく動名詞（Verbal Noun, 以下では「VN」と称する）としての機能をも有している。

- (1) a. じちょう [自重] (スル)・しつぎ [質疑] (スル)・
 せつめい [説明] (スル) …
 b. りょうがえ [両替] (スル)・わりびき [割引] (スル)¹⁾ …

3.2 語数

《デイリー国語辞典》に見出し語は約 73,000 語載っており、漢語動詞は 7,240 語で全語数の約 10% を占めている。(2a) のように 2 種類の発音があると、見出し語として 2 つ載っているものは 1 つにした。また、(2b) のように《デイリー国語辞典》では漢語名詞であるが、『大辞林』(2019) では漢語動詞になっている場合やその反対の VN もあったため調整を行なった²⁾。本稿では、概ね出版年度が新しい『大辞林』(2019) の判定に従った。(2c) は《デイリー国語辞典》には載っていないが、『大辞林』(2019) には載っている漢語 VN である。

- (2) a. 越年 (えつねん・おつねん)・改悔 (がいけ・かいげ)・
出来 (しゅったい・しゅつらい)・発足 (ほっそく・はっそく) …
b. 死生・正答・損害・悲鳴・分量・論考
c. 急減・曲流・出店・出展・脱着・盗撮・敗亡・入着

本稿では上記のような事情を踏まえ、微調整を行なって得られた7000語を対象に分析を行なう。以下、このデータを《日韓漢語動詞7000》と呼ぶ。この語数だと、使用語彙として張志剛(2014)や『朝日新聞』の3年間(2019-2021年)の「社説」に用いられた異なり語数「1,855語」(延べ語数「3,744語」)をもカバーできる。両言語間では88.29%の対応が示されたが、どのような様子が見られたかについては第5節で詳しく取り上げる。

3.3 《日韓漢語動詞7000》の品詞と割合

《日韓漢語動詞7000》の品詞³⁾とその割合は〈表2〉の通りである。自動詞が他動詞よりやや多い。

表2 《日韓漢語動詞7000》の品詞と割合

品詞	語数	割合
自動詞	3,226	46.09%
他動詞	3,206	45.80%
自他両用動詞	568	8.11%
合計	7,000	100%

4. 《日韓漢語動詞7000》に見る日韓両言語の対応の諸相

4.1 正の転移と負の転移

第二外国語教育において、母語が目標言語の習得を促すことを「正の転

移」、習得の妨げになることを「負の転移」と言う。漢語 VN は日韓両言語間で正の転移が顕著に見られる語彙カテゴリーである。従来、日韓両言語の対照研究においては漢語 VN に見られる正の転移と負の転移が多く論じられてきた。この際、一部の漢語 VN を対象にして分析し、論じていたため、論拠に例外と言える VN も多々あった。《日韓漢語動詞 7000》は今後日韓両言語の対照研究に資する基礎データになると期待している。

4.2 対応の割合

《日韓漢語動詞 7000》において、日韓両言語間に見られる正の転移と負の転移の語数と割合は (3ab) のようになる。9 割近くの正の転移を見せている。

- (3) a. 正の転移：6,180 語 (88.29%)
 b. 負の転移：820 語 (11.71%)

《日韓漢語動詞 7000》に見られる対応の様子をタイプ別に分けると〈表 3〉のようになる。

表 3 《日韓漢語動詞 7000》の対応のタイプ

	タイプ	対応の様子	語数	割合
正	タイプ I	「VN-スル」に「VN-hada」が対応する	6,180	88.29%
負	タイプ II	「VN-スル」に対応する「VN」がない	517	7.38%
	タイプ III	「VN-スル」に「VN」(名詞)のみが対応する	172	2.46%
	タイプ IV	「VN-スル」に「VN-hada」の形容詞が対応する	93	1.33%
	タイプ V	「VN-スル」に「VN-doida」が対応する	16	0.23%
	タイプ VI	「VN-スル」と「VN-hada」の意味がずれている	22	0.31%
			7,000	100%

5. 《日韓漢語動詞 7000》の対応のタイプと例

以下では、〈表3〉の6つのタイプを中心に《日韓漢語動詞 7000》の対応に見られる諸相を見てみよう。

5.1 タイプI: 「VN-スル」に「VN-hada」が対応する

正の転移であるタイプIは6,180語が対応し、88.29%の割合を呈した。『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)を対象に語彙調査を行なった尹亭仁・車香春(2014)では、韓国語の漢語VNに対して日本語は7割強の正の転移を呈していると述べている。まず、典型的なVNの対応を見てみよう。

(4) 「VN-スル」に「VN-hada」が対応する

<u>握手</u> + スル	<u>약수</u> (握手) + hada
<u>意識</u> + スル	<u>의식</u> (意識) + hada
<u>意味</u> + スル	<u>의미</u> (意味) + hada
<u>運動</u> + スル	<u>운동</u> (運動) + hada
<u>準備</u> + スル	<u>준비</u> (準備) + hada
<u>説明</u> + スル	<u>설명</u> (説明) + hada
<u>利用</u> + スル	<u>이용</u> (利用) + hada
<u>料理</u> + スル	<u>요리</u> (料理) + hada

(4)の例を見れば分かるように、意味はさることながら発音も似ているVNが多いため、「意味する」「運動する」「準備する」「利用する」「料理する」などは韓国語の初級レベルから導入が可能である。筆者は授業でこ

のような導入を心がけている。

今回の調査で日本語の漢語動詞に対して韓国語は9割近くの正の転移を呈していることが分かった。筆者のいくつかの語彙調査の経験からすると、日本語から韓国語を捉えると対応の割合が高くなる。その理由の1つとして、韓国語には韓国語母語話者にとって理解語彙としても意味が通らない、いわば日本語由来の漢語動詞が多いからである。(5a) に一部の例を提示する。(5a) の漢語 VN を、(5b) のようにハングルだけで表わすと意味が分からないし、文脈があっても文意の把握は厳しい。同音異義語の他の漢語 VN を思いつくか誤植だと思う人が多いだろう。

- (5) a. 帰宅・企及・稽古・苦勞・梱包・散財・邪推・出捐・心勞・脱帽…
 b. 귀택・기급・계고・고로・곤포・산재・사추・출연・심로・탈모…

韓国語の辞書にはこのような類の語が少なくない。

5.2 タイプⅡ：「VN-スル」に対応する「VN」がない

タイプⅡは、負の転移の中で最も多い517語で7.38%を占めている。韓国語を母語とする日本語学習者である筆者は特に頻度の高い(6)のような漢語VNを資料として重宝している。日常においてもわりと用いられている。(6)に頻度の高い20語を提示する。

- (6) 「VN-スル」に対応する「VN-hada」がない場合

挨拶・焙煎・一浪・一睡・一報・右折・横着・改行・仮眠・開錠・
 完食・完売・既習・逆走・給紙・左折・心配・世話・重宝・油断

5.3 タイプⅢ：「VN-スル」に「VN」(名詞)のみが対応する

負の転移が見られる漢語 VN の中には、「VN-スル」に接尾辞の「-hada」はなく「VN」(名詞)のみが対応する場合もある。頻度の高い20語を(7)に提示する。

(7) 「VN-スル」に「VN」(名詞)のみが対応する場合

安打・意見・異見・位置・異動・飲食・内訌・鬱血・影響・壊死・
加湿・還流・帰趨・恐慌・恐怖・均衡・傾斜・欠損・限界・倦怠・
故障・午睡・鼓動・残業・捻挫・悲鳴…

韓国語においては(8abc)のように他の動詞とのコロケーションが用いられている。

- (8) a. 安打+スル *安打+hada⁴⁾ 安打를 치다 (*安打を打つ)
b. 影響+スル *影響+hada 影響을 미치다 (影響を及ぼす)
c. 故障+スル *故障+hada 故障이 나다 (*故障になる)

このタイプⅢは韓国語にもっと多い。すなわち、韓国語においては漢語 VN なのに日本語においては漢語名詞のタイプである。韓国語から日本語を捉えた場合、最も負の転移が多いのがこのタイプで、筆者もしばしば母語干渉を起こしている。

5.4 タイプⅣ：「VN-スル」に「VN-hada」の形容詞が対応する

筆者は《日韓漢語動詞7000》で得られた93語はタイプⅣを網羅したものと考えている。そのうち頻度の高い20語を(9)に提示する。

(9) 「VN-スル」に「VN-hada」の形容詞が対応する

哀惜・一定・円熟・完熟・近似・緊迫・急迫・窮乏・虚脱・傑出・
謙遜・酷似・混雑・混乱・充実・衰弱・適合・不足・類似・乱暴

韓国語の場合、漢語 VN も漢語形容詞と同じく「漢語 VN+하다 hada」の形を取るため、辞書形（基本形）では区別がつかない。現在連体形の場合、漢語 VN は「VN+하느 haneun」に、漢語形容詞は「VN+한 han」になる。現在終止形の場合、「VN+한다 handa」（動詞）と「VN+하다 hada」（形容詞）で用いられる。日本語は動詞であるため、「V-ている」形が可能であるが、韓国語ではこの活用形が成り立たない。例えば、「不足している」の場合、韓国語は「부족(不足)+hada」の現在形しか成り立たないのである。このずれからレベルが相当高い日本語母語話者韓国語学習者でも、「*不足+하고 있다（不足している）」のように韓国語の漢語形容詞を「漢語 VN-ている形」で用いるなどしてしばしば母語干渉を起こしている。

5.5 タイプV：「VN-スル」に「VN-doida」が対応する

韓国語の中に「VN-スル」に対応するのが「VN-hada」ではなく「VN-doida」になる類がある。《日韓漢語動詞 7000》から (10a) のように 15 語の漢語 VN が見られたが、(10b) を合わせると 21 語ほどある。

(10) 「VN-スル」に「VN-doida」が対応する場合

- a. 汚染・激昂・紅潮・枯渴・混信・混線・失踪・充血・熟練・損害・中毒・発覚・放電・麻痺・矛盾
- b. 刻印・反対・失脚・暗転・進捗・混沌

語数は多くないが、「汚染」「充血」「中毒」「発覚」「麻痺」「矛盾」などは頻度が高いため母語干渉につながる場合がある。タイプVの成立については尹亭仁(2023b)で触れている。

5.6 タイプVI:「VN-スル」と「VN-hada」の意味がずれている

このタイプは語数からは多くないが、やはり母語干渉を起こす場合がある。対応関係を厳密に捉えるとより増えると思われる。言葉は生き物であるため、今も両言語間で漢語VNの意味の拡大や縮小が行なわれているはずである。そのため、このような意味のずれは避けられないと思っている。(11)に全語数を提示する。

- (11) 一服・遠慮・開学・開室・割愛・寒心⁵⁾・逆上・去来・議論・
工夫・喧嘩・参入・自慢・絶句・訴求・鼯鼠・辟易・返却・勉強・
迷惑・浪人

正の転移を見せるタイプIにおいても用法が100%一致するとは限らない。翻訳の際、直訳に見えたり不自然に感じられたりして、誤訳とは言えないものの、文に違和感を覚える場合が少なくない。特に、日本語では漢語VNより和語が対応した方が自然な場合が多々ある。(12abc)のような例が挙げられる。

- (12) a. 도전(挑戦)+hada 挑戦+スル／挑む
b. 실망(失望)+hada 失望+スル／がっかりする
c. 확인(確認)+hada 確認+スル／確かめる

また、(13abc)の移動と関連する漢語VNの場合、「VN-hada」より

「VN-를／을 (을) 가다 (行く)」のように、韓国語は「가다 gada」を用いるのが自然である。

- (13) a. 移民+スル 移民+hada 移民을 가다 (*移民に行く)
 b. 出張+スル 出張+hada 出張을 가다 (*出張に行く)
 c. 留学+スル 留学+hada 留學을 가다 (*留学に行く)

ここまで、日韓両言語において負の転移を呈している5つのタイプについて取り上げた。個別の漢語 VN を中心により細かい分析は別稿に譲りたい。

5.7 「VN-doida /hada」共用動詞の存在

〈表3〉の6つのタイプのリストには載っていないが、韓国語には「タイプⅦ」にも分類できる「VN-doida /hada 共用動詞」⁶⁾の存在がある。《日韓漢語動詞 7000》には407語が載っているが、筆者の調査によると500語ほどある。(14)のように、韓国語だけ漢語 VN になっている語もあるからである。

- (14) 감수(減壽)・구애(拘碍)・낙후(落後)・단산(斷産)・동파(凍破)・
 둔갑(遁甲)・만취(滿醉)・모진(耗盡)・복선(覆船)・산발(散髮)・
 상충(相衝)・상치(相馳)…

「doida/hada 共用動詞」は両方とも自動詞で、(15abc)のように、文脈によってどちらかが用いられる。常に2種類が用いられるのではなく VN によって多少異なる様子を呈する。(15a)は、文脈から「VN+hada」が対応する類である。(15b)は文脈からどちらも可能な漢語 VN であり、

(15c) は主に「VN+doida」が対応する類である。筆者はいずれ(15c)のような漢語 VN はタイプVに合流すると考えている。

- | | | |
|---------|-------|---------------------|
| (15) a. | 接近+スル | 접근(接近)+hada > doida |
| | 到着+スル | 도착(到着)+hada > doida |
| b. | 関連+スル | 관련(關聯)+hada / doida |
| | 対応+スル | 대응(對應)+hada / doida |
| c. | 安定+スル | 안정(安定)+hada < doida |
| | 感染+スル | 감염(感染)+hada < doida |

この対応のずれは従来日韓対照言語研究の中で頻繁に取り上げられていた。(15a)は正の転移、(15b)は文脈によって正の転移にも負の転移にもなりうる。(15c)は負の転移につながる。「doida/hada 共用動詞」は語数も多いが、(15)のように、頻度の高いVNも含まれているため、中級以上のレベルでは学習の妨げとして立ちはだかる問題である。筆者は約500語のリストから頻度と用法を確認し、50語ほどをデポルトとして決め、受講生に提示して覚えてもらうのも1つの方法であると考えている。

6. 日本の韓国語教育における《日韓漢語動詞 7000》の活用について

漢語動詞は動詞の下位カテゴリーである。文法教育において中心になるのが動詞であり、文型というものが動詞を中心に成り立つことを考えると、漢語 VN は語彙教育と文法教育にまたがるカテゴリーと言えそうである。韓国語のレベルが上がるにつれ、漢語 VN の使用も多くなり、どの教材を用いても少なくない漢語 VN が頻出している。

本稿では、『日韓漢語動詞 7000』を活用する取り組みの例として、「グルーピング」と「関連語マッピング」を提示したい。

6.1 グルーピングとシソーラス

外国語教育においてシソーラス (thesaurus) の活用は重要である。シソーラスは『大辞林』(2019) で「①語句を意味によって分類・配列した語彙集。類義語集をいう場合もある。②情報検索において、キーワードの示す範囲。キーワードと関連語の類似・対立・包含関係などを記述したリスト。」と定義されている。

英語では接尾辞を以て名詞や形容詞を判断する 경우가多いが、語幹の意味が分らないと接尾辞だけでは意味の類推ができない。しかし、漢語 VN の場合、すでに形態的にシソーラスを形成しているため、意味の類推がしやすい。

尹亨仁 (2020) で取り上げられているように、日本における韓国語教育において漢語動詞は韓国語より日本語からの導入が効果的である。漢語 VN を頻度の高い語を中心に初級から徐々に導入し、中級以上の韓国語の授業では集中的に導入することができる。そのためにも『日韓漢語動詞 7000』は役に立つと思われる。(16)～(19) で「愛」「出」「読」「用」のグルーピングの例を見てみよう。このようなリストがあると、課題の提示もしやすくなる。

- (16) a. 愛飲・愛玩・愛顧・愛護・愛好・愛唱・愛誦・愛惜・愛蔵・愛着・
愛聴・愛読・愛撫・愛慕・愛用
b. 割愛・求愛・敬愛・最愛・自愛・親愛・寵愛・溺愛・熱愛・
偏愛・盲愛・恋愛
- (17) a. 出域・出院・出演・出捐・出火・出荷・出棺・出願・出郷・出京・

出勤・出家・出撃・出血・出現・出庫・出向・出校・出港・
 出航・出講・出国・出獄・出札・出産・出仕・出資・出社・
 出車・出所・出生・出場・出陣・出水・出世・出征・出精・
 出席・出船・出走・出来 {しゅったい}・出題・出立・出炭・
 出張・出陳・出廷・出店・出土・出頭・出動・出入・出馬・
 出発・出帆・出版・出費・出品・出兵・出沒・出奔・出問・
 出来 {しゅっらい}・出漁・出猟・出力・出塁

b. 出納

c. 案出・逸出・演出・外出・救出・供出・拠出・掲出・傑出・検出・
 查出・産出・算出・支出・射出・重出・抄出・初出・侵出・
 新出・浸出・進出・滲出・析出・選出・創出・送出・続出・
 簇出・帶出・退出・他出・脱出・抽出・提出・摘出・剔出・
 転出・点出・導出・特出・突出・捻出・排出・輩出・派出・
 早出・搬出・百出・表出・描出・頻出・噴出・放出・奔出・
 訳出・誘出・湧出・輸出・溶出・裸出・流出・留出・漏出・
 露出・

(18) a. 読影・読誦 {どくじゅ}・読書・読誦 {どくしょう}・読図・読破・
 読了・読解・出撃・出血・出現・出庫・出向・出校・出港・出航・
 出講・出国・出獄

b. 読経

c. 一読・閲読・音読・会読・解読・回読・訓読・講読・購読・誤読・
 再読・習読・熟読・真読・精読・速読・素読・代読・多読・
 耽読・直読・通読・拝読・判読・必読・併読・未読・黙読・
 訳読・乱読・濫読・輪読・朗読・

(19) a. 愛用・悪用・引用・飲用・運用・援用・応用・外用・活用・慣用・
 起用・共用・供用・兼用・雇用・誤用・混用・採用・作用・

算用・借用・収用・襲用・充用・取用・準用・使用・試用・
賞用・常用・所用・信用・占用・専用・善用・代用・多用・
着用・徴用・通用・適用・転用・盗用・登用・任用・佩用・
汎用・服用・併用・乱用・流用・利用・両用・連用

b. 用意・用捨・用心・用船・用便

《日韓漢語動詞 7000》から頻度の高い漢語 VN を初級・中級・上級に分けて、特にタイプ I を中心に授業に導入すると語彙力が向上する。筆者は中級レベルのクラスで、毎週漢語 VN を用いて、〈図 1〉と〈図 2〉のような形式で単語テストを行なっている。多くの漢語 VN に慣れてもらうが主眼である。このように漢語 VN に慣れてくると中級以降の韓国語の読解や韓国語関連の各種検定試験にも対応できる。

【中級レベル】漢語動詞1

이름:

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

※次の漢語動詞に対応する韓国語を選びなさい。

1. 出發する
①출발 ②출두 ③출전 ④출장
2. 出世する
①출입 ②출세 ③출국 ④출몰
3. 出現する
①출시 ②출현 ③출남 ④출항
4. 出馬する
①출정 ②출마 ③출강 ④출생
5. 出席する
①출결 ②출판 ③출동 ④출석
6. 使用する
①사양 ②사용 ③사칭 ④사주
7. 利用する
①이해 ②이용 ③이전 ④이식
8. 応用する
①응모 ②응용 ③응수 ④응답
9. 愛用する
①애국 ②애창 ③애도 ④애용
10. 活用する
①활용 ②활주 ③활용 ④활보

수 고 했 습 니 다

【中級レベル】漢語動詞2

이름:

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

※次の漢語動詞に対応する韓国語を選びなさい。

1. 愛護する
①애국 ②애민 ③애호 ④애창
2. 愛用する
①애용 ②애창 ③애호 ④애작
3. 愛護する
①애모 ②애독 ③애석 ④애완
4. 安心する
①안치 ②안심 ③안식 ④안도
5. 安定する
①안정 ②안거 ③안민 ④안좌
6. 安住する
①안주 ②안산 ③안타 ④안내
7. 共生する
①공생 ②신생 ③자생 ④재생
8. 出生する
①창생 ②출생 ③발생 ④야생
9. 誕生する
①탄생 ②상생 ③파생 ④회생
10. 活動する
①행동 ②활동 ③이동 ④진동

수 고 했 습 니 다

図 1 グルーピングを用いた
漢語動詞のテスト

図 2 グルーピングを用いた
漢語動詞のテスト

6.2 関連語マッピング

漢語 VN をコアにして関連語マッピングをゲーム感覚で展開すると授業への参加意欲も高まり漢語語彙も楽しく増やせる。これは、本来持っている日本語の語彙力を活用するだけで韓国語の語彙も増やせるし、効果も実感できる利点がある。

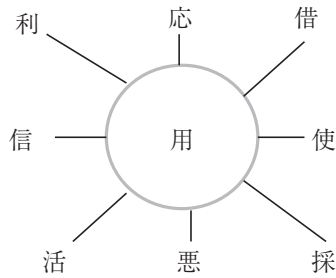


図3 「用」の関連語マッピング

〈図3〉を整理すると、(20)のような漢語 VN の導入になっていることが分かる。

(20) 悪用 + スル	악용(惡用) + hada
信用 + スル	신용(信用) + hada
活用 + スル	활용(活用) + hada
使用 + スル	사용(使用) + hada
応用 + スル	응용(應用) + hada
借用 + スル	차용(借用) + hada
採用 + スル	채용(採用) + hada
利用 + スル	이용(利用) + hada

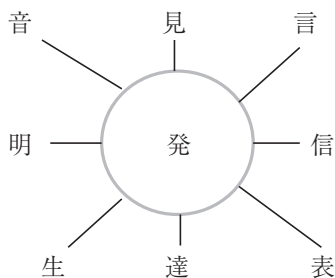


図4 「発」の関連語マッピング

〈図4〉の「発」を整理すると、(21) のようになる。立体的導入と整理した単語リストを以て行なう繰り返し作業も語彙の定着に役立つ。

(21) 発音+スル	발음(發音)+hada
発見+スル	발견(發見)+hada
発言+スル	발언(發言)+hada
発明+スル	발명(發明)+hada
発信+スル	발신(發信)+hada
発生+スル	발생(發生)+hada
発達+スル	발달(發達)+hada
発表+スル	발표(發表)+hada

授業中に (22ab) のリストと図5を提示し、ペアを組んで完成を競い合わせるのも効果的である。

- (22) a. 注意・注解(註解)・注記(註記)・注視・注射・注釈(註釈)・
 注入・注目・注文・注油・注力
 b. 外注・傾注・集注・受注・特注・発注

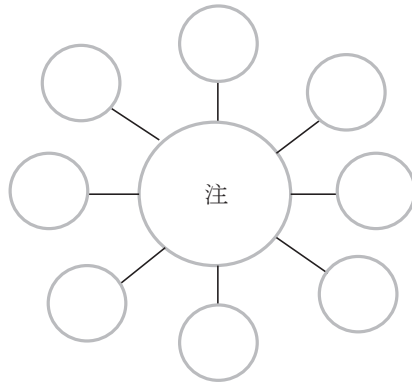


図5 「注」の関連語マッピング

さらに、図6と図7のように、レベルに合わせて複合語を導入するのも効果をもたらす。日常の中の言葉を、漢語VNを軸にして集めてみるのは日本語の磨きにもなる。様々な工夫により学生たちが興味を持つようになることが肝心である。筆者はこれを常に心がけている「学生参加誘導型授業」の一環で行なっている。

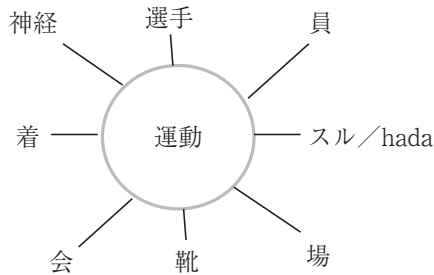


図6 「運動」の関連語マッピング

〈図6〉の「運動」関連の語彙を整理すると、(23) のようになる。

(23) 運動 + スル	운동 (運動) + 하다
運動 + 会	운동 (運動) + 회 (會)
運動 + 場	운동 (運動) + 장 (場)
運動 + 員	운동 (運動) + 원 (員)
運動 + 着	운동 (運動) + <u>복 (服)</u>
運動 + 靴	운동 (運動) + <u>화 (靴)</u>
運動 + 神経	운동 (運動) + 신경 (神經)
運動 + 選手	운동 (運動) + 선수 (選手)

学生たちがタイプ I の正の転移に慣れてきたところで、(23) のリストから不一致を見せる語を取り上げてもそれほど難しく受け止めないようである。「運動着」と「運動靴」の場合は「漢語 + 和語」の組み合わせで、韓国語は他の語を用いたり、和語を漢語読みしたりして対応している。このように韓国語と語種が異なる場合があることに気づくと、今まであまり意識していなかった日本語の語構成の特徴に気づくきっかけにもなる。

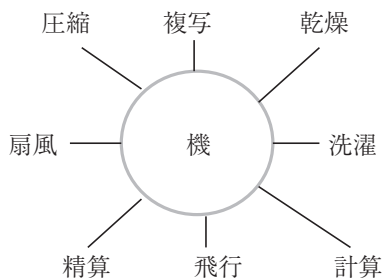


図7 「機」の関連語マッピング

〈図7〉の「機」の複合語を整理すると、(24) のようになる。(24) に

「発券機」や「耕運機」など他の複合語を加えていくこともできる。

(24) 圧縮 + 機	압축(壓縮) + 기(機)
乾燥 + 機	건조(乾燥) + 기(機)
計算 + 機	계산(計算) + 기(機)
精算 + 機	정산(精算) + 기(機)
洗濯 + 機	세탁(洗濯) + 기(機)
飛行 + 機	비행(飛行) + 기(機)
複写 + 機	복사(複寫) + 기(機)

徳弘康代編著(2014)に提示されている「日本語学習のためのよく使う順漢字2200」を参考に動詞性の強い漢字、例えば「上」「出」「分」など頻度が高い語が含まれる漢語VNを導入して、徐々に語数を増やしていくことも考えられる。筆者は中級クラス用の関連語マッピングを作成しながら初級クラスで取り組める「関連語マッピングシート」の作成を試みている。完成できたら本学の他の韓国語初級と中級クラスでも活用してもらう計画である。

7. 終わりに

本稿では、『デイリーコンサイス国語辞典』第5版(2010)に載っている2字漢語動詞を抽出し、『日韓漢語動詞7000』を作成、6つのタイプに分け、韓国語との対応の様子を取り上げた。漢語動詞の中で9割近くを占めている2字漢語動詞7000語は両言語の間で88.29%の対応の様子を呈していたが、実際の使用においてはこのパーセンテージが下がると思われる。日本の国語辞典には漢語動詞の品詞分類がされていない場合が多いが、

《日韓漢語動詞 7000》では対応する韓国語の漢語動詞を拠り所にし、品詞分類も行なった。自動詞が他動詞よりやや多い結果が得られた。韓国語を母語とする日本語学習者のみならず中国語を母語とする日本語学習者にとっても品詞分類は参考になる項目である。

「挨拶する」「重宝する」「退屈する」など日本語にしかない漢語動詞があるように、韓国語にしかない漢語動詞も多い。《日韓漢語動詞 7000》に見られた負の転移を辞書やテキストの付録の資料として提示したい。

今回の分類と分析から、日韓両言語の漢語動詞の全体像が浮き彫りになった。《日韓漢語動詞 7000》には取り入れていないが、格助詞を用いての共起関係の「文型情報」を加えると授業での活用はさらにしやすくなる。これは今後の課題の1つである。データベースの構築も視野に入れて、グルーピングと関連語マッピングをより立体的に提示できる工夫もしていきたい。

＊謝辞：本研究は、JSPS 科研費 19K00775 と JSPS 科研費 24K04062 の助成を受けたものである。

注

- 1) 「割引（する）」の「割引」は訓読みの和語動詞であるが、韓国語では韓国語の音読みで漢語動詞になっている。このような類が100語以上ある。「取扱（する）」「取消（する）」「呼出（する）」「割増（する）」などが挙げられる。この類は「日韓漢語動詞 7000」には含まれないが、韓国語から捉えた「韓日漢語動詞 7000」には含まれており、日本語との対応において不一致の様子を呈している。
- 2) 松岡（2004）にスルに派生できる漢語 VN の特徴が取り上げられているが、当てはまらない語も多々ある。また、辞書には漢語名詞であるが、漢語 VN としての用法が見られる場合もある。例えば、「観光」は今のところ《デイリー国語辞典》でも、『大辞林』（2019）でも漢語名詞になっているが、実際「…日本を観光する外国人にとっても便利になっている…」（平高・木村 2017：139）のように「観光する」が用いられている。韓国語では「観光+hada」が成り立つた

め、筆者としては母語干渉を起こしやすいが、そのうち、漢語 VN になるかもしれないと思っている。

- 3) 品詞分類において、『デイリー国語辞典』の漢語動詞は、「(名) する」または「(スル)」と記述されているため、判定ができない場合もあった。『大辞林』(2019)、『広辞苑』(2008)、『大辞泉』(電子辞書版) にも品詞分類はされていない。本稿では自他の品詞分類ができていない『三省堂現代新国語辞典』(2019) を参考にしたが、見出し語として載っていない漢語 VN もあったため、その場合は韓国の『東亜新国語辞典』(1989/2003) や『標準韓国語大辞典』(インターネット版) を参考にした。品詞が一致するケースが多かったが、中には「休止」のように、日本語は他動詞に、韓国語は自動詞に分類されている漢語 VN や、「陳情」のように日本語は他動詞に、韓国語は自他両用動詞に分類されている漢語 VN もあった。韓国の多くの国語辞典では品詞分類がされており、それに慣れている筆者としては品詞分類にこだわったところがある。
- 4) *は当該の語彙または文が誤用か非文法的であることを表わす。
- 5) 「寒心+スル」は日本語では漢語 VN であるが、韓国語では漢語形容詞である。意味は全くずれており、「情けない」「嘆かわしい」などの意味を持っている。使用頻度は非常に高い。
- 6) 尹亭仁 (2023b) では「VN-doida/hada 共存動詞」という用語で説明をしていたが、「共存」より「共用」が用法をより適切に表わすため、今後「共用動詞」を用いることにする。

参考文献

- 小林英樹 (2004) 『現代日本語の漢語動名詞の研究』 ひつじ書房
- 張志剛 (2014) 『現代日本語の二字漢語動詞の自他』 くろしお出版
- 平高史也・木村護郎クリストフ編 (2017) 『多言語主義社会に向けて』 くろしお出版
- 松岡知津子 (2004) 「複合名詞「～スル」を形成する漢語名詞について」『日本語教育』120, pp. 13-22 日本語教育学会
- 尹亭仁 (2015) 「日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって—2字漢語動詞を中心に—」『神奈川大学言語研究』37, pp. 1-26 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2019) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (2) —『李箱文学賞作品集 2006-2015』の分析を中心に—」『神奈川大学言語研究』42, pp. 1-26 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2020) 「日本における韓国語の言語景観と活用の可能性 (1) —韓国語の漢語語彙力の向上の観点から—」『神奈川大学言語研究』43, pp. 1-34 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2022) 「日本語母語話者に韓国語の2字漢語動詞を体系的に提示するための取組みについて」『神奈川大学人文研究所所報』67, pp. 103-119 神奈川大学人文研究所
- 尹亭仁 (2023a) 「日韓両言語における2字漢語動詞の対応—1290語の分析と「基本漢語動詞」の策

- 定一」『神奈川大学人文学報』208、pp. 113-145 神奈川大学人文学会
- 尹亨仁（2023b）「韓国語の「漢語 VN-sikida」の用法と派生上の特徴—2つの語彙調査の結果を中心に—」『神奈川大学言語研究』45、pp. 1-23 神奈川大学言語研究センター
- 尹亨仁・車香春（2014）「韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに—」『神奈川大学言語研究』41、pp. 1-24 神奈川大学言語研究センター

【辞書類】

〈日本語〉

- 小野正弘主幹 市川孝・見坊豪紀・飯間浩明・中里理子・鳴海伸一・関口祐未（2019）『三省堂現代新国語辞典』第六版 三省堂
- 小泉保他編（1989）『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店
- 新村出編（2008）『広辞苑』第6版 岩波書店
- 佐竹秀雄・三省堂編修所編（2010）『デイリーコンサイス国語辞典』第5版（中型版）三省堂
- 三省堂編修所編（2017）『デイリー韓日英辞典』[カジュアル版] 三省堂
- 徳弘康代編著（2014）『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
- 松村明監修『大辞泉』（電子辞書版）小学館
- 松村明編（2019）『大辞林』第4版 三省堂
- 尹亨仁編（2009）『デイリーコンサイス韓日辞典』三省堂

〈韓国語〉

- 李基文監修（1989/2003）『동아 새 국어사전：東亜新国語辞典』第5版 東亜出版社：ソウル
- 国立国語研究院『標準韓国語大辞典』（インターネット版）

【新聞】

- 『朝日新聞』『社説』（2019）朝日新聞社
- 『朝日新聞』『社説』（2020）朝日新聞社
- 『朝日新聞』『社説』（2021）朝日新聞社